保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　６年　２月１３日

事業所名　きっずぱれっと西富井　　保護者等数（児童数）３７　回収数３６　　割合　９７％

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	1	0	2	・気が散りやすい子どもの為にスペースを区切ってあり、集中できる ・十分な広さが確保されている。 ・現状が分からない。 ・各個人が自分のやるべき事に集中できるようスペースが確保されている。	随時、参観・見学は受け付けています。周知していきたいと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1	0	9	・送迎利用の為、連絡帳でのやり取りしかありませんが、専門的観点から記入されているのが分かります。 ・適正人数の知識がないので評価できない。 ・職員は沢山いると思う。	重要事項説明で、配置数や職務内容についてはお伝えしていますが、職員の氏名及び資格等について、適宜お伝えしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*１になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	1	0	2	・見てわかるように配置されている。 ・活動毎に仕切られ集中でき、活動に合わせた空間になっている。 ・この場所でするべきことについて、本人に伝わっていると思う。 ・本人に分かりやすい空間だが、玄関に段差がありバリアフリーではない。	随時、参観・見学は受け付けています。周知していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	0	0	1	・活動に取り組みやすい環境。 ・情報量のコントロールがなされていて、活動に集中できる空間となっている。 ・それぞれのスペースにわかれているので、いいと思う。	随時、参観・見学は受け付けています。周知していきたいと思います。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	36	0	0	0	・子どもが療育でどのように過ごしているか、課題について教えて頂くと共に幼稚園での困り事も含めて計画を作成して頂いた。	今後は、定期的に懇談を行い、不明な点はいつでも問い合わせていただけるように周知しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32	0	0	4	・地域支援に関しては、大きな問題があって療育に相談した時、幼稚園の連絡帳で伝えたり、幼稚園の面談の時に療育での様子を伝えるだけになっていた。	個別支援計画の同意を得る際に、支援の説明をより丁寧に行い、不明な点はいつでも問い合わせていただき、お伝えしていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36	0	0	0	・お友だちと遊ぶ事に関して、成長が認められた。 ・子どもに合った課題で、取り組みやすいと思います。	連絡帳などを用いて支援の目的や様子を伝え、不明な点についてはお伝えしていきたいと思います。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	35	0	0	1	・いつも違う活動をして工夫されている。 ・活動プログラムに最近出た困り事がよく半円されており、固定化しないよう工夫されている。 ・新しいことを次々やってくれている。 ・個別のプログラムが毎回工夫されており、本人にとってとても取り組みやすい課題です。	連絡帳などを用いて支援の目的や様子を伝え、不明な点についてはお伝えしていきたいと思います。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22	1	3	10	・支援の中で保育園等の子供たちとの交流する機会はないと思いますが、通園している為必要ないです。 ・園行事でお休みする際も、行事の様子を聞いていただいたりと配慮いただいている。 ・難易度を調節してくださっている。	所属している園等において、交流が図れるよう引き続き支援していきたいと思います。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	0	1	0	・十分な説明がありました。 ・契約時にご説明頂いた。	契約時に丁寧に説明を行い、変更時には適時説明を行っていきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	34	1	0	1	・十分な説明がありました。 ・目標を設定する際に説明して頂いた。	個別支援計画書等に使う言葉も専門用語等に配慮しながら説明をしていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	26	4	1	5	・家庭で困った事があれば、今後相談させてください。 ・その時の困り感を伝えるといつも助言をしてくださる。	家庭で出来る取り組みなどを分かりやすく伝えていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	35	0	0	1	・いつも連絡帳にてお伝えいただきありがとうございます。 ・連絡帳で様子を細かく伝えてくださり助かっています。 ・降園時に様子を伝えて頂いている。園での課題は連絡帳で伝えるようにしている。	送り迎えの時に時間を作り、状況等の説明を行っているが、ご家族と共通理解を得られるようにしていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	3	3	1	・療育で上手にできたことや声掛けなど、聞いて家でも実践しています。 ・アドバイスがとても分かりやすい ・様子をしっかり伝えていただき助言を頂いている。	送り迎え時に相談等を受けられるよう設定しているが、今後は懇談等も行いながら支援をしていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	16	14	・分からない	今後実施に向けてを検討いたします。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34	1	0	1	・問題については、すぐに対応方法を教えて頂く事が多い。	申し入れに迅速に対応しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	0	0	0	・いつも連絡帳にてお伝えいただきありがとうございます。 ・連絡帳に入れてくれるので紛失の心配がない。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	4	3	14	・分からない	ホームページにて活動の概要等を発信していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	34	0	0	2	・問題ない	適切に取り扱いを行っています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	3	3	12	・契約時に説明を頂いた。	重要事項説明で行っているが、今後会報等を用いて伝えていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	3	2	23	・分からない	重要事項説明で行っているが、適宜お伝えていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	35	0	0	1	・週２回の療育日をとても楽しみにしています。 ・「明日は療育」と伝えると「やった」と飛び跳ね喜ぶほど、いつも楽しみに通わせてもらっている。 ・いつも楽しみにしていて、帰宅してからも色々お話を聞かせてくれる。 ・行けば楽しんでいるが道中は泣くので… ・楽しみにしている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	36	0	0	0	・連絡帳やお迎えの時にいつも詳しく子どもの様子を教えてくださるので、とてもありがたい。 ・いつもお世話になり、ありがとうございます。残り少ないですがよろしくお願いします。 ・成長がとても感じられるので、今後ともお願いします。 ・先生方も優しく。とても満足しています。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。